

# 汗でアトピー悪化

## 皮膚にすむカビが犯人

アトピー性皮膚炎の患者が汗をかくと炎症を引き起こすことについて、広島大学院の秀道広教授（皮膚科学）らの研究グループは6日、人間の皮膚に存在するカビが作り出すたんぱく質が原因であると発表した。このカビは「マラセチアグロボザ」で、作り出されたたんぱく質が汗に溶け込んで体内に入ることによってアレルギー反応を起こすとしている。

【吉村周平】

### 広大グループが解明

研究グループは、治療法やスキンケア方法因物質が解明されたことの開発が期待できるととで、より効果的な治療法を説明。研究グループの

### 作るたんぱく質でかゆみ

論文は先月31日（日本時間今月1日）、米医学専門誌のオンライン版に掲載された。このカビは、健康な

汗がアレルギーを引き起こすことは分かっていたが、具体的にどの物質が原因かは分かっていた。研究グループが人間の汗に含まれる物質を分析したところ、かゆみを起こす物質「ヒスタミン」が放出される際、カビの一種の「マラセチアグロボザ」が作り出したたんぱく質が原因だと

論文は先月31日（日本時間今月1日）、米医学専門誌のオンライン版に掲載された。このカビは、健康な人間の皮膚にも存在し、作り出されたたんぱく質は、ごく微量でもアレルギー反応を引き起こすという。秀道広教授は「今後、たんぱく質だけを取り除く製品などを開発することによって、患者のアトピー性皮膚炎を和らげることが期待できる」と話している。